Council of Local Authorities
for International Relations, Seoul

クレアソウル
2016

Ⅰ 自治体の魅力を韓国で発信

① ホ・ヨンマン画伯による日本の魅力発信
② 日本の地域のＰＲ映像を韓国メディアで放映！
③ 日韓交流おまつり
④ 各種イベントでの自治体観光PR

Ⅱ JETプログラムから始まる日韓交流

Ⅲ 自治体に役立つ情報の収集・発信

① 韓国における自治体の海外活動支援
② 日本の自治体等からの依頼調査
③ 各種セミナーの開催（韓国全国市道知事協議会や韓国地方行政研究院との共同セミナー）
④ 各種アンケートの実施（観光・物産アンケート）
⑤ クレアソウルからの情報発信（SNS、メルマガ等）
⑥ 姉妹都市交流

CLAIR

ホ・ヨンマン画伯による日本の魅力発信

ホ・ヨンマン画伯をはじめとした取材団を日本各地に招致し、温泉や旅館、食など日本が誇る伝統文化・観光資源の体験取材とその発信を通じて、日本各地の魅力を韓国にPRすることにより、韓国人観光客の日本誘致を推進しています。

ホ・ヨンマン画伯

これまでに製作した約215作品のうち、27作品がアニメ化・ドラマ化・映画化されている韓国漫画界の第一人者である。

取材先でうどん打ち体験をする画伯

代表作『食客』は日本でも翻訳版が発売され、映画化、ドラマ化もされた。他にも、原作を映画化した『タチャ-神の手-』も日本で放映された。

2009年には、イ・ミョンバク大統領夫人を名誉会長とする韓国料理世界化推進団の委員を務めた。

また、『食客』に登場したグルメのなかから選ばれた店を集めた『食客村』というレストラン街がソウル市内に２ヶ所（鍾路区、九老区）にオープン。

現在、中央日報で漫画『コーヒー１杯いかがですか？』を連載中。

発信力の高い取材団

韓国の著名な旅行作家や写真家、フードコラムニストなど ４名程度

	役割分担	費用負担
自治体	・取材日程案の作成 ・取材候補地に関する情報提供 ・アポ取り、日程調整 ・現地取材対応（通訳含む）	・貸切バス、その他移動費 ・宿泊費、食費、施設利用料 ・その他取材に係る経費
クレア	・自治体と取材団間の連絡調整 ・取材への同行、取材サポート ・航空券の手配	・取材団航空費 ・35万円の助成

取材風景(2015年度)

岡山県(７月)

大分県(９月)

青森県(1月)

PR媒体(2015年度)

取材先	掲載雑誌等
岡山県	HEYDAY8月号 大韓航空機内新聞　SKY NEWS
大分県	HEYDAY10月号
青森県	Woman Sense 3月号 Cook And 3月号

取材実績

延べ28道県、8市（取材回数29回）

年度	取材地
2015	岡山県、大分県、青森県
2014	愛媛県、佐賀県、山梨県、神奈川県
2013	鹿児島市、熊本市、北九州市、福岡市、広島県、宮崎県
2012	香川県、佐賀県唐津市、山形県
2011	沖縄県、三重県、富山県、石川県、新潟県
2010	茨城県、長崎県、鳥取県･島根県･岡山県、愛媛県、和歌山県、北海道
2009	秋田県、静岡県、青森県、鹿児島県、北部九州（北九州市、大分市、別府市）

日本の地域のPR映像の韓国メディアでの放映

観光ＰＲ映像など、日本の地域の魅力を発信する動画を、韓国メディアとタイアップして放映。

【メリット】

既存の**動画を提供していただくだけでO.K.！**韓国語の字幕などの加工は韓国メディアが対応するため、手間はかかりません！

一定期間繰り返し放映されるため、**知名度が飛躍的に向上！**ＩＴ社会の韓国では効果大！

全体の流れ

I 自治体の魅力を韓国で発信

日韓交流おまつり

２００５年、日韓国交正常化40周年「日韓友情年」を機に始まった「日韓交流おまつり」は、日韓最大の草の根交流行事であり、両国の友好増進を目的として開催しています。
伝統舞踊の公演等による文化交流はもちろん、地域の観光や特産品をＰＲする絶好の機会として、毎年、日本の自治体も数多く参加しています。

自治体ブース出展実績	
２０１５年度（15団体）	青森県、福島県、宮城県、横浜市、山梨県、静岡県、白浜町、鳥取県、香川県、熊本県、宮崎県、佐賀県、長崎県、対馬市、沖縄県
２０１４年度（10団体）	青森県、福島県、宮城県、新潟県、山梨県、白浜町、鳥取県、岡山市、長崎県、沖縄県
２０１３年度（9団体）	青森県、新潟県、山梨県、三重県、鳥取県、岡山県、九州観光推進機構、長崎県、沖縄県

各種イベントでの自治体観光PR

韓国内で開催される観光展や物産展、各種の自治体PRイベント等にクレアソウルとしてブースを出展し、各自治体の観光パンフレット配布やポスターの掲示、DVDの上映、日本酒の試飲など、**様々なかたちで日本各地の魅力をPR**しています。また、各自治体からの個別の依頼に基づき、**イベント等へのブース出展のサポート**も行っています。

2015年度の主な観光展等への出展・サポート実績

イベント名	日程	場所
C-Festival 2015：Asia Mania	2015.04.30～05.30	COEX（ソウル市）
ハナツアー旅行博覧会	2015.06.05～06.07	KINTEX（京畿道高陽市）
釜山国際観光展（BITF）	2015.09.11～09.14	BEXCO（釜山市）
日韓交流おまつり	2015.09.20	COEX（ソウル市）
在韓日本大使館主催の自治体PRイベント・レセプション	随時	在韓日本大使公邸など

**皆様の自治体の観光パンフレット、ポスター、PR映像、ノベルティグッズをお寄せください！
クレアソウルが日本全国の自治体のPRを代行いたします！**

JETプログラムとは？

日本の自治体の国際化の推進等を図るため、２９年間続いている世界最大規模の人的交流事業です。
総務省、外務省、文部科学省、自治体国際化協会の協力の下、日本の自治体が、外国語指導や国際交流業務等に従事する海外の青年を受け入れています。

【２０１５年度】４３カ国より4,７８６名参加（うち韓国人は６２名）
⇒ ２９年間の参加延べ人数は**６５か国から６２,０００名以上**（うち韓国人**４００名以上**）

JETプログラム参加者の職種

① 外国語指導助手（ＡＬＴ）・・・・小学校・中学校や高等学校で語学指導に従事
② 国際交流員（ＣＩＲ）・・・・・・地域において国際交流活動に従事
③ スポーツ国際交流員（ＳＥＡ）・・地域においてスポーツを通じた国際交流活動に従事

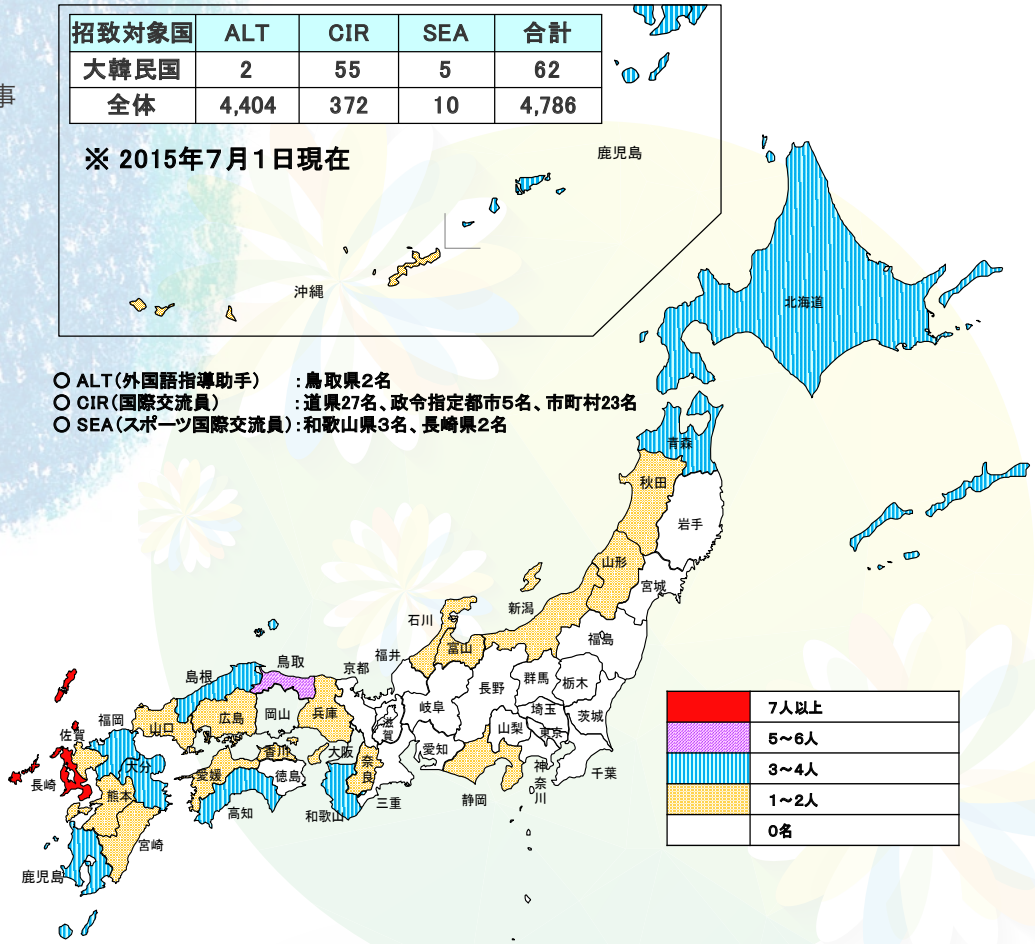
韓国人JET参加者の業務

- 国際交流イベントや異文化理解講座の企画、運営
- 韓国語教師や、市民向け韓国語講座の開催
- SNSやメディアを活用した観光PR情報等の発信
- 県知事や市長、韓国からの来賓等の通訳
- 自治体が発行する広報物等の翻訳
- 学校での韓国語文化紹介　など

韓国人ＪＥＴ参加者の配置状況

招致対象国	ALT	CIR	SEA	合計
大韓民国	2	55	5	62
全体	4,404	372	10	4,786

※ 2015年７月１日現在



○ ALT（外国語指導助手）　：鳥取県2名
○ CIR（国際交流員）　：道県27名、政令指定都市5名、市町村23名
○ SEA（スポーツ国際交流員）：和歌山県3名、長崎県2名

日本の自治体の韓国における活動支援

日本の自治体が韓国で行う様々な活動について、事前の企画・準備段階から現地での活動まで、幅広く、様々なかたちでサポートしています。

2015年度実績

計55件（2015年4月～2016年2月）

＜支援項目＞（1件の支援に対して複数項目の支援を行った場合を含む）

支援分野	支援件数（延べ）
観光プロモーション	13　件
経済関連事業	21　件
親善交流	11　件
視察・研修・会議	17　件
その他	4　件

＜申し込みの流れ＞

①自治体から本部企画調査課又はソウル事務所へご相談

②海外活動支援依頼申込書を本部（支部経由）へ提出

▼

詳細の打ち合わせ

▼

活動支援実施

活動支援例

日韓地方自治フォーラムにおける京都府知事のアテンド

鹿児島-ソウル線就航25周年記念レセプションにおける運営支援

ブリーフィングの実施

韓国の地方自治に関する基礎データから、姉妹都市や観光等の現状まで、韓国訪問の目的に合わせて幅広い情報をご提供します。

奈良県青年訪問団へのブリーフィングの様子

静岡県御殿場市議会訪韓団へのブリーフィングの様子

日本の自治体等からの依頼調査

日本の自治体等の依頼により、必要な海外の情報について調査を行い、その結果を提供しています。

2015年度の例

日本からの依頼	韓国からの依頼
二輪車（オートバイ）ユーザーの負担に関する調査	日本の地方財政健全化に関する制度及び事例等について
海外の消防における男女別職員数・勤務形態・業務内容等に関する調査	日本のMERS対応について
韓国の社会福祉協議会について	日本の地方自治体首長の引継ぎについて

2011年度～2015年度の実績

年度	調査件数（延べ件数）
2015年度	33　件
2014年度	42　件
2013年度	46　件
2012年度	59　件
2011年度	53　件

（2016年2月29日現在）

「韓国全国市道知事協議会(GAOK)」との共同セミナー

韓国の広域地方自治体の首長で構成されるGAOKと連携し、2015年度より共同でセミナー等を開催しています。

【2015年度　開催実績】

❖ 朝鮮通信使国際シンポジウム

◈テーマ：「朝鮮通信使の精神から学ぶ今後の日韓関係」

◈場　所：韓国プレスセンター　国際会議場

◈基調講演：

仲尾宏（朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産日本学術委員会 委員長）
孫承喆（江原大学校史学科 教授）

◈ユネスコ記憶遺産登録申請の経過報告：

阿比留正臣（NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会 事務局長）

◈パネルディスカッション

姜南周（朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産韓国学術委員会 委員長）
松原一征（NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会 理事長）
佐々木悦也（高月観音の里歴史民俗資料館 副参事）
鄭在貞（ソウル市立大学校国史学科 教授）
韓泰文（釜山大学校国文学科 教授）

◈参加者数：約250名

◈広報：40以上のメディアにて報道

「韓国地方行政研究院(KRILA)」との共同セミナー

韓国の地方自治に関する総合的な政策研究機関であるKRILAと2009年度にMOUを締結し、毎年共同でセミナー等を開催しています。

【2015年度　開催実績】

◈テーマ：「日韓地方再生及び創生」

◈場　所：大韓商工会議所　議員会議室

◈基調講演：佐賀県知事　山口祥義

◈主題発表：

高田寛文（政策研究大学院大学教授）
李沼映（韓国地方行政研究院地域発展研究室長）

過去の研究テーマ

年度	研究テーマ
2014年度	日韓地方自治団体規制改革
2013年度	地域共同体活性化方策
2012年度	日韓の福祉行財政研究
2011年度	日韓地方自治体防災対策研究
2010年度	日韓地方行財政制度比較研究

観光アンケート

例年９月頃に開催される「日韓交流おまつり」や「釜山国際観光展」において、韓国人来場者を対象に、観光に関するアンケート調査を行っています。
日本の各地域に対する関心度や、観光情報の入手方法などについて調査し、自治体が韓国からのインバウンド戦略を立てる際の参考となる情報を集めています。

2015年に行ったアンケート調査の一例

行ってみたい都道府県

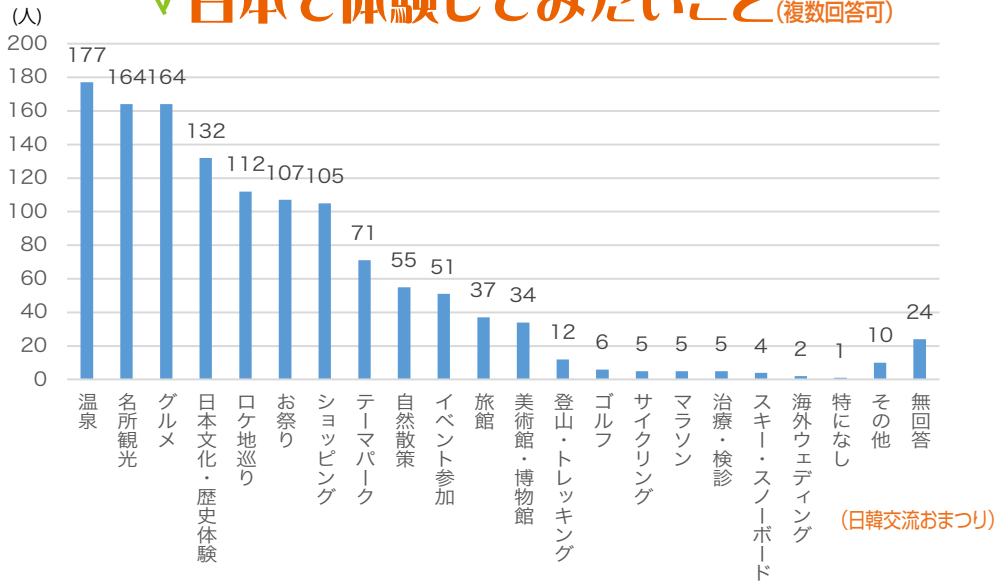
日韓交流おまつり

順位	前年からの順位変動	都道府県	票数
１位	↑	沖縄	６６
２位	↑	東京	６０
３位	↓	北海道	５６
４位	↓	大阪	４７
５位	→	京都	３４
６位	↑	福岡	２２
７位	↑	千葉	２１
８位	↑	鳥取	１３
９位	↓	青森	８
	↑	広島	８
	↑	熊本	８
12位	↓	宮城	７
	↑	秋田	７
	↑	神奈川	７
	↓	兵庫	７
	↑	奈良	７
17位	↓	長崎	６
	↓	鹿児島	６
19位	↑	岡山	５
	↓	宮崎	５

釜山国際観光展

順位	前年からの順位変動	都道府県	票数
１位	↑	北海道	１１６
２位	↑	東京	８９
	↑	大阪	８９
４位	↓	沖縄	８３
５位	→	京都	３３
６位	↑	福岡	３２
７位	↑	長崎	３０
８位	↓	鳥取	１７
９位	→	千葉	１４
１０位	→	青森	１３
	↑	大分	１３
１２位	↑	福島	１２
１３位	→	秋田	１０
１４位	↑	広島	９
	↑	高知	９
１６位	↓	鹿児島	８
１７位	↑	宮城	７
	↑	兵庫	７
	↓	奈良	７
２０位	↓	岐阜	６
	↑	愛知	６
	↑	徳島	６

日本で体験してみたいこと（複数回答可）



（日韓交流おまつり）

日本酒アンケート

農林水産省においては、韓国を日本酒の輸出重点国の一つとしており、積極的な普及促進活動が行われています。
そこで、韓国における一般消費者が、日本酒に対してどのような印象や嗜好を持っているか、また日本酒の産地に関してどのような認識を持っているかなどについて、アンケート調査を実施しました。

<調査概要>

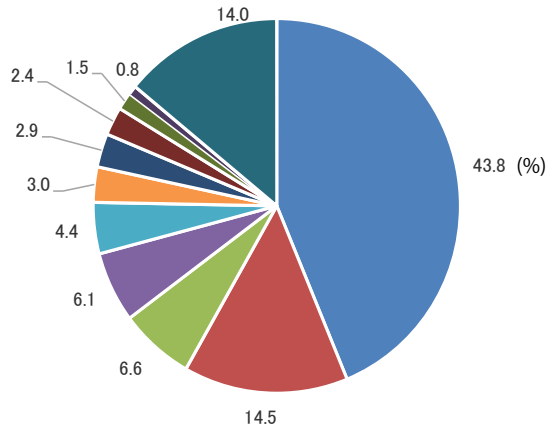
①地　　域：ソウル特別市・仁川広域市・ 京畿道
②対象者条件：２０歳以上男女、現在お酒を飲んでいる人、日本酒を認知している人
③サンプル数：８００名
④割　　付：２０代・３０代・４０代・５０代以上 × 男女均等配分、各セル１００名
⑤調 査 時 期：２０１６年３月

他にも
・日本酒を飲む頻度はどれくらいか
・日本酒に関する情報をどこから得るかなど
全19項目について調査しました。

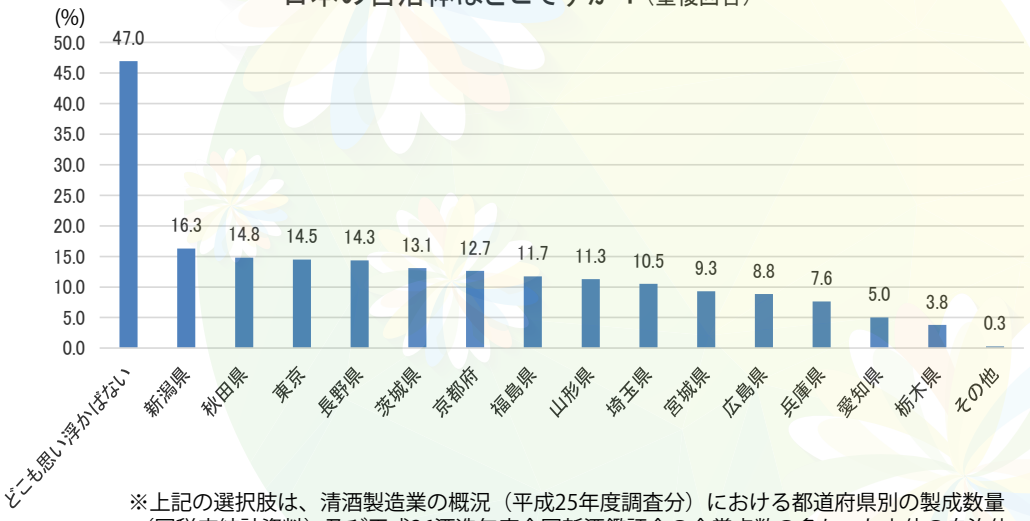
アンケート結果の全体はクレアソウルの
ホームページで公開します。

★アンケート結果の一例

Q. 今後、日本酒を飲みたいと思う理由をひとつ選択してください。



Q. 日本酒の産地と聞いて思い浮かぶ
日本の自治体はどこですか？（重複回答）



※上記の選択肢は、清酒製造業の概況（平成25年度調査分）における都道府県別の製成数量（国税庁統計資料）及び平成26酒造年度全国新酒鑑評会の金賞点数の多かった上位の自治体を基に作成したものです。

クレアソウルからの情報発信

クレアソウルでは、Facebook、Twitter等のSNSや、クレアソウルメールマガジン、ホームページなどを通じて、日韓の自治体等の皆様に有用な情報発信を行っています。
また、他の機関と連携し、日本の地域の文化や観光、JETプログラムなどに関する出前講座も実施しています。

Facebook
（https://www.facebook.com/clairseoul）

クレアソウル事務所ホームページ

★ぜひ「いいね！」やシェアをお願いします!!

職員による出前講座の様子

刊行物

クレアレポート

海外の地方行財政事情をはじめ、様々な領域にわたる最新情報を中心にまとめ、レポートとしてお届けしています。

クレアレポート直近の成果
大韓民国における国民基礎生活保障制度について
韓国の森林･木材産業の現況と対韓木材輸出について
韓国の地方公務員制度～給与制度を中心に～

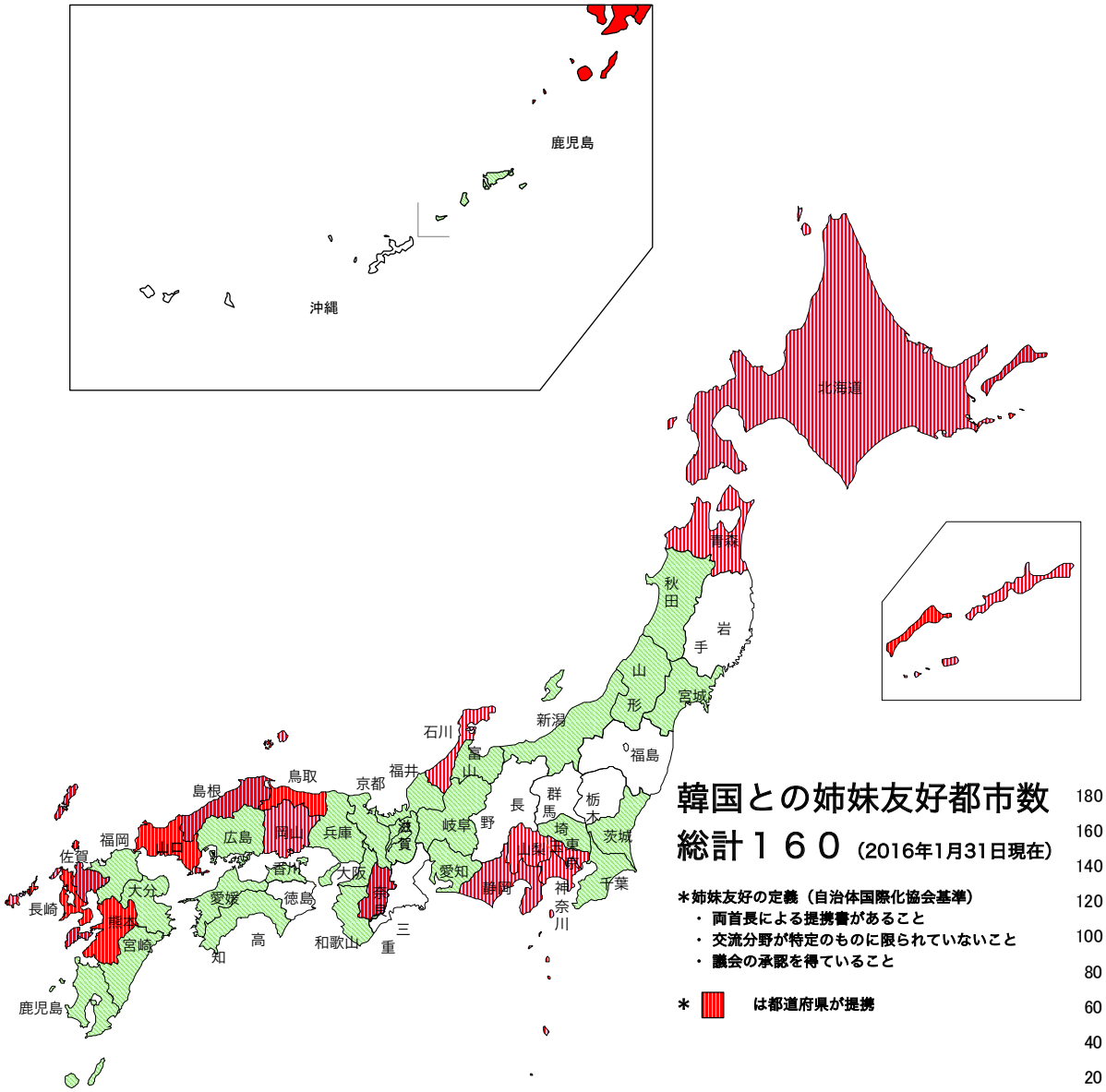
- 大韓民国の概要
  http://www.clair.or.kr/subPage.asp?G=3&L=1&S=1
- 韓国の地方自治
  http://www.clair.or.jp/j/forum/pub/docs/j52.pdf

機関誌、iJAMP

自治体国際化フォーラム

海外事務所フラッシュ（iJAMP）

姉妹都市交流



韓国との姉妹友好都市数

総計１６０（2016年1月31日現在）

＊姉妹友好の定義（自治体国際化協会基準）
- 両首長による提携書があること
- 交流分野が特定のものに限られていないこと
- 議会の承認を得ていること

＊ ■ は都道府県が提携

姉妹友好都市数の変遷

1980年代まで（28）

年度	件数
1968	1
1970	1
1972	1
1973	2
1975	1
1976	2
1978	1
1979	1
1981	3
1982	2
1984	2
1985	1
1986	1
1987	3
1988	2
1989	4

1990年代（49）

年度	件数
1990	6
1991	9
1992	4
1993	2
1994	5
1995	2
1996	6
1997	6
1998	4
1999	5

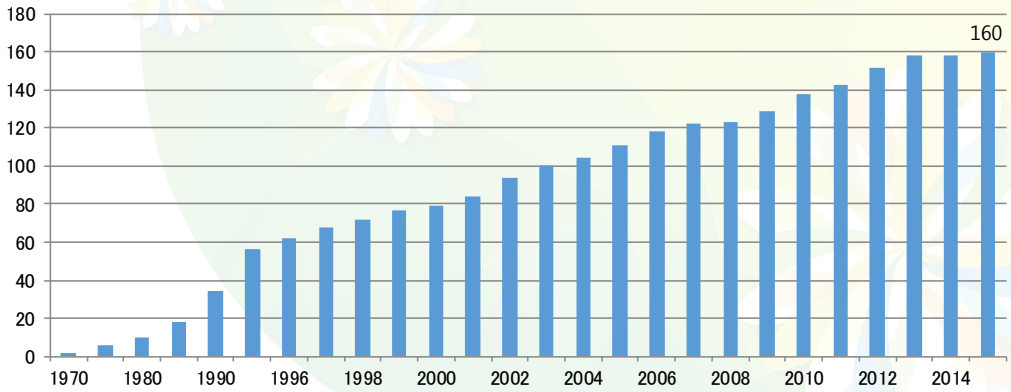
2000年代（52）

年度	件数
2000	2
2001	5
2002	10
2003	6
2004	4
2005	7
2006	7
2007	4
2008	1
2009	6

2010年代（31）

年度	件数
2010	9
2011	5
2012	9
2013	6
2014	0
2015	2

日韓姉妹友好都市数の推移（各年度末の累計）



クレア(CLAIR)ソウル事務所 概要

Council of Local Authorities for International Relations

◤クレア(CLAIR)について

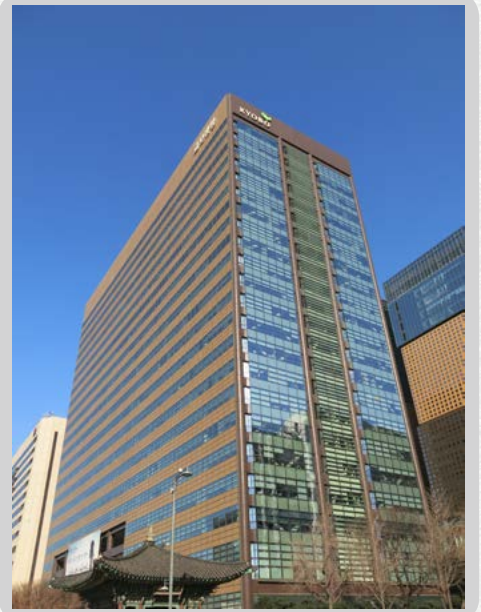
- 名称　一般財団法人自治体国際化協会
- 日本の地域の国際化を推進するため、地方公共団体の共同組織として1988年(昭和63年)に設立
- 本部　東京
- 海外事務所　７か所
  ニューヨーク、ロンドン、パリ、シンガポール、ソウル、シドニー、北京

◤ソウル事務所について

- 職員数　１５名
  所長、次長、所長補佐９名、現地スタッフ４名
- 職員派遣元団体
  茨城県、富山県、京都府、鳥取県、愛媛県、高知県
  長崎県、宮崎県、鹿児島県
- その他
  長崎県駐在員が常駐

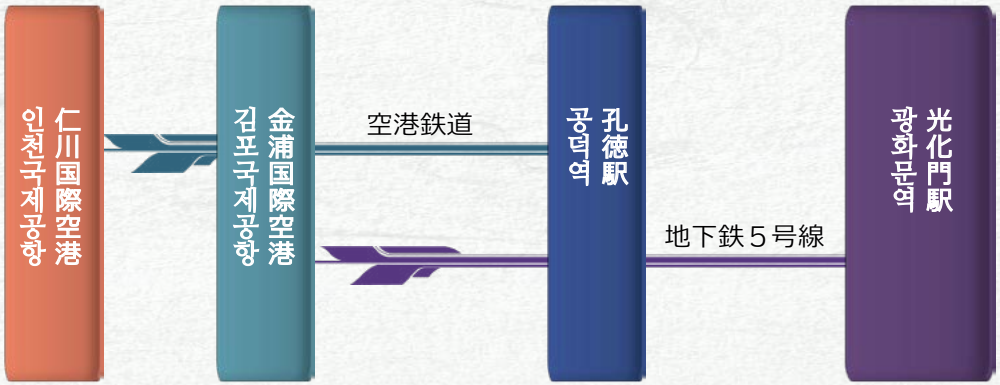
空港からのアクセス

- 仁川空港から　約70分
- 金浦空港から　約45分　(鉄道、タクシーとも)



大韓民国ソウル特別市鐘路区鐘路1 教保B/D17階
TEL：+82(0)-2-733-5681
FAX：+82(0)-2-732-8873
代表アドレス：info@clair.or.kr

(参考)鉄道利用の場合



一般財団法人
自治体国際化協会